

ナインG乳剤

登録番号: 第23085号

(ニコスルフロン乳剤)

適用拡大の概要

<作物名の追加>

- ・作物名「日本芝」を追加する。

(下線部が変更点)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量		本剤の使用回数	使用方法	ニコスルフロンを含む農薬の総使用回数
			薬量	希釈水量			
<u>日本芝</u>	チガヤ	春夏期 芝生育期 (雑草生育期)	0.1~ 0.15mL/m <sup>2</sup>	100~ 200mL/m <sup>2</sup>	3回以内	散布	3回以内

(該当作物のみ記載。)

<使用上の注意事項の変更・追加> 一般的注意事項(1)と作物別注意事項(2)に項目を分割し整理する。また、作物名「日本芝」に関する(3)-1)~4)を追加し以下のとおりとする。

**(1) 一般的注意事項(共通)**

- 1) 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきること。
- 2) 散布液調製前には容器をよく振って使用すること。
- 3) 雑草の生育期に薬液が雑草の茎葉全体に均一にかかるように散布すること。
- 4) 雑草生育期(草丈30cm以下)が、本剤の散布適期であり、雑草が大きくなりすぎると効果が低減するので時期を失しないように散布すること。
- 5) 散布薬液の飛散によって有用植物に薬害を生じることのないよう十分に注意して散布すること。
- 6) 流出や土壌浸透により他の作物や有用植物の根に接触する可能性がある場所では使用しないこと。
- 7) 公園、提とう等で使用する場合、水源池等に本剤が飛散、流入しないよう十分注意すること。
- 8) 散布直後の降雨は、効果を低下させるので、天候を見極めて散布すること。
- 9) 使用后、タンク、ホース、ブーム、ノズル内に薬液が残らないよう散布器具は十分に洗浄し、他の用途に使用する場合、薬害の原因にならないよう注意すること。
- 10) 散布器具の洗浄水および残りの薬液は河川等に流さず、容器等は環境に影響を与えないよう適切に処理すること。
- 11) 使用にあたっては使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は病虫害防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

**(2) 樹木等で使用する場合は、一般的注意事項の他に、次の事項に注意すること。**

- 1) 広葉雑草のうちセイタカアワダチソウ、ヨメナ、ヨモギには効果が劣るので、これらの雑草が優占する場所での使用をさけること。

**(3) 日本芝で使用する場合は、一般的注意事項の他に、次の事項に注意すること。**

- 1) 寒地型西洋芝では薬害を生じるので使用しないこと。特にゴルフ場で寒地型西洋芝を使用しているグリーンやティーランド周辺では使用しないこと。
- 2) 芝の生育が劣っている場合や生育初期に使用する場合、葉に黄変を生じることがあるが、その後の生育に影響はない。
- 3) 萌芽期には、薬害を生じるおそれがあるので使用しないこと。
- 4) 日本芝にはターフを形成してから使用すること。